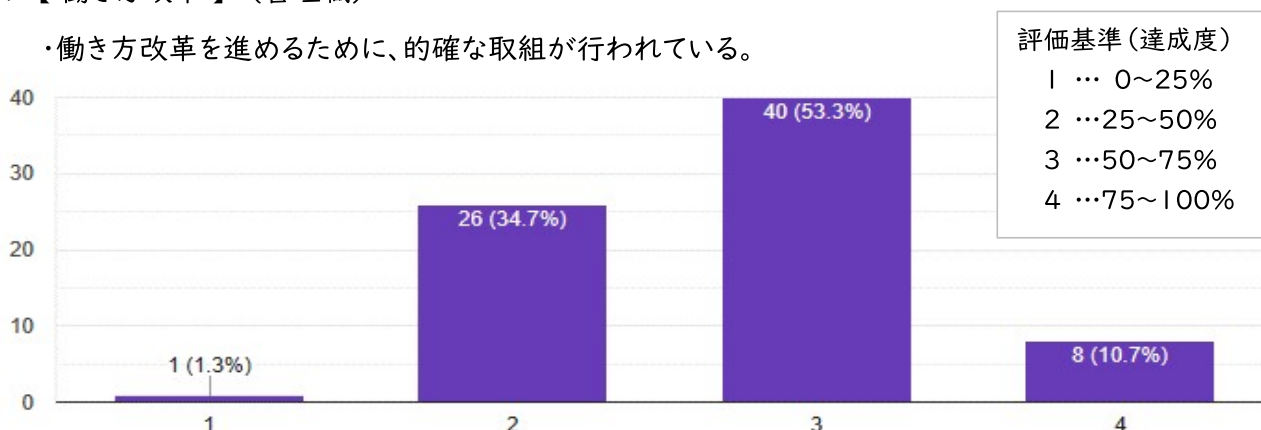


令和5年度学校評価(教職員)

- ・ 実施日…令和5年12月8日(金)～14日(木)
- ・ 回答数…75(回収率…85.2%)
- ・ 4段階評価
 - 1:達成されていない(達成度 0～25%)
 - 2:あまり達成されていない(達成度 25～50%)
 - 3:徐々に達成してきている(達成度 50～75%)
 - 4:達成している(達成度 75～100%)
- ・ 評価項目ごとに、改善の方向性や具体的なアイデアを募集した。

I 【働き方改革】(管理職)

・働き方改革を進めるために、的確な取組が行われている。



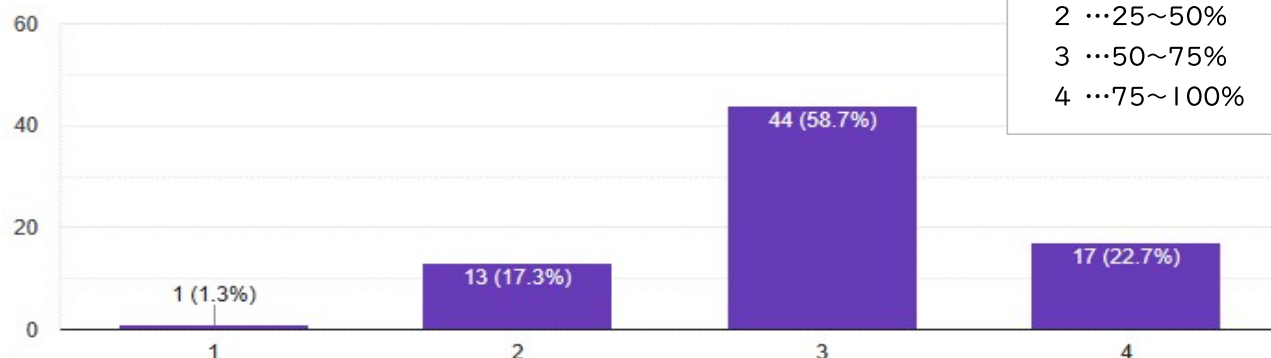
改善の方向性や具体的なアイデア

- ・ 管理職と一般教諭との間に距離感があるように思います。距離感が縮まれば管理職の意思が浸透しやすくなると思います。
- ・ 職員の意見の集約
- ・ 行事での生徒の活動を具体的にする。
- ・ 質も大切だと思う。
- ・ 職員室へのエアコンの設置など
- ・ 適切な人事配置
- ・ 進路指導部の人数を、9クラスある学年は外勤3人、または、せめて全体で外勤あと1人プラスできるというのでは。
- ・ 分掌業務、学年業務問わず、自分の役割を自覚して責任をもつ。声を掛けないと取り組まない人が少なくないと感じる。
- ・ 担任が作成している各種様式の効率化(評価、進路関係、記録など)
- ・ 仕事の分担
- ・ 会議時間の始まりが、人が揃わず数分遅れてしまうことがある。みんなで定刻通り始められるよう意識したい。
- ・ 配布物(重要ではないもの)を安心メールで家庭に送信。家庭に配布する資源、労力の削減になる。
- ・ 分掌、委員会の業務の連携について整理する。他校では管理職が担う対応を本校では教員が対応しているように思うので、その整理をしてはどうか。また、必要な業務かどうかを整理する。
- ・ 会議日を午前授業にする案を実現してほしい。また、担任が日常の業務をこなしながら、行事の事前事後、個別面談等各部署から次々と業務が積み重なる期間を改善してほしい。
- ・ 会議日を設け午前授業にする。5時間授業の日を作る。
- ・ 学期の始めと終わりの時期に特に業務が多くなるため、午平日課の導入。
- ・ 先生方は時間に追われている。生徒や授業などの情報を共有する時間もなかなか取れない。空き時間も放課後も抱えている仕事や会議、打ち合わせと忙しい。生徒とゆっくり話す、教材研究に充てる時間もないのでは、常に気持ちが追い詰められる。
- ・ 定数を抜本的に変更して教員を増やす。

- ・業務を業者に移行する。
- ・学校独自の工夫だけでは、誰かがかぶるだけになってしまう。道教委や文科省が改革を具体的に進めるべき。
- ・分掌を構成する職員の適切な配置を考える。
- ・部活動優先で会議を入れられない状況には違和感がある。生徒指導や授業に関わる打ち合わせは、部活動の時間に行うことで、16:45～の会議設定を無くしたり、会議の超過を防げる。
- ・本校の現状でどこが課題か、方向性が見直しが必要
- ・今年始まった「自己診断シート」は道からきているものなのかもしれませんが、資料を作る負担が増えた気がします。
- ・教科等の担当者の在り方について検討する（国語や数学などを当たり前習熟度別に分けずに、担当者が全体の授業に責任をもつ）。
- ・適切な人事。仕事の分量が偏っているように見受けられます。
- ・1人1人の意識が必要。意識改革
- ・本当に必要な会議のみにする。
- ・学校の役割が多いと思います。保護者や地域の方にも協力していただける業務を検討し、職員が少しでも余裕をもって授業などの準備に専念できる時間を確保すべき。
- ・コロナウイルスのまん延時には会議や行事などが縮小されても大きな支障がなかったため、大胆な削減を検討してほしい。そうしなければ改革は進まない。
- ・Jアラートのときは災害事故休暇にするべき。
- ・部活や生徒会、学校祭実行委員会などの担当者の休憩時間をきちんと考えるべき。
- ・行事の徹底した精選、部活動の時間の短縮化、特別時間割中の空き時間の確保。
- ・会議の精選など
- ・コロナ禍が過ぎ、業務が増えているように感じる。見直しが必要では。
- ・あまり達成されていないのでは。
- ・気持ちよく職場で一日を過ごすために、管理職を含めた職員同士の挨拶や言葉の交わりを感じるものが少なかった。

2【教育環境の整備】（総務部）

- ・校内組織の連携・調整が図られている。
- ・事務部と連携し、予算が適切に執行されている。

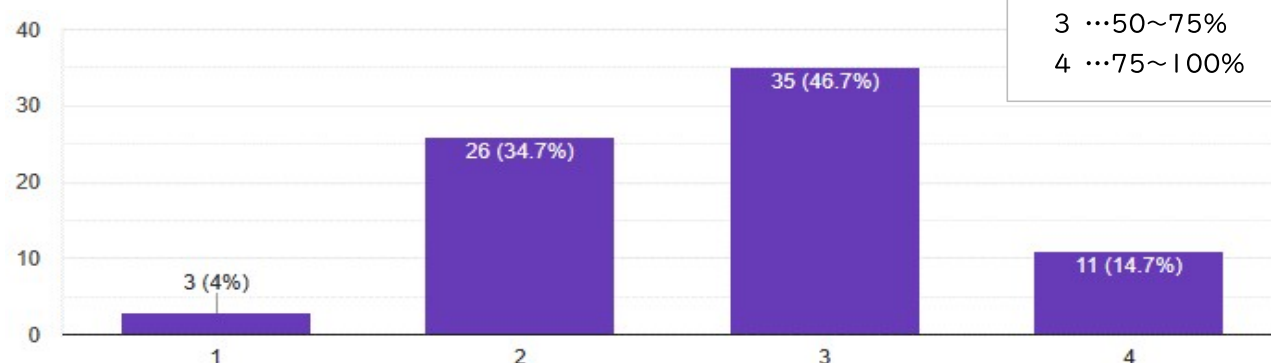


改善の方向性や具体的なアイデア

- ・学校が目指すビジョンを明確化して、職員意識への浸透を図れば連携が密になると思う。
- ・行事の精選を行う。各部署からでてきた行事を全て行うのではなく精査が必要
- ・リボーンプロジェクトを促進し、廃止しても支障のない業務については年度末を待たずに廃止を検討する。
- ・プリンターの印刷上限を超え、全てが壊れてもおかしくない。
- ・特にスケジュール調整は、年度末と年度初めにしっかり時間をとって行っはどうか。また、分掌の横の連携や調整や確認できる場があっても良いと思う。
- ・運営会議から教科チーフを外すなど、1人ひとりの会議時間の負担を減らす。
- ・分掌の分担、学年、学科の分担も連携をして仕事の比重を考えた方が良いと思います。
- ・連携・調整について、部署による差が大きいと感じる。必要な情報を共有する面において個人差があり、適切に図られていないと感じる。リーダーがいらないために、全く業務が滞る事態が起きている。

3【教育課程、学習指導】（教務部）

- ・生徒一人一人に応じた教育活動が推進されている。
- ・各教科のシラバスについて検証が行われ、学習評価の充実が図られている。



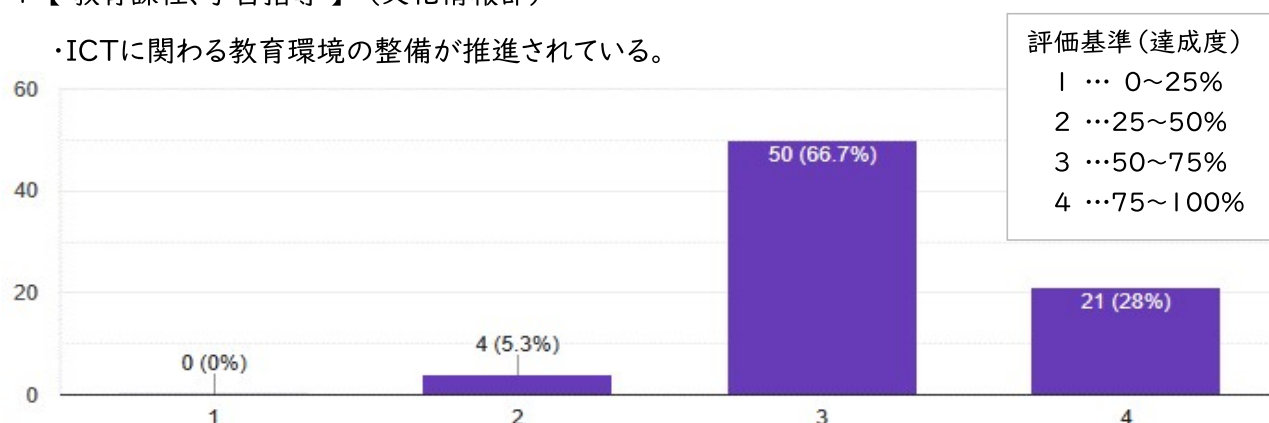
改善の方向性や具体的なアイデア

- ・教科指導に対する教員の思いがもう少し統一されると変わると思います。
- ・観点別評価に関しては、各教科別に単元ごとの評価規準の設定、毎時適切な評価を行い、それを積み重ねていくことが必要です。研究部での研究テーマなどに設定して、全職員で理解を深めるなどの工夫が必要かと思います。

- ・教科のコマ数、授業の内容など、シラバスの検証が必要。生徒を見ていて、着替え方、清掃など、伝えたいことがあるが時間がない。また、生徒の様子を見ていて、学級、学年の活動などをタイムリーに行いたいと思っても、時間を確保することが難しく、柔軟な対応ができない。休み時間を長くするなどの余裕が欲しい。
- ・学習評価は、生徒に伝わりにくいものになっているので、改善が必要だと思います。本校の生徒には、数値だけでは伝わらないことがわかりました。
- ・評価の説明については、保護者懇談等で改めて評価だけでなく具体的な学習場面の様子をお伝えすることで補足する。
- ・シラバスの内容について再検討してほしい。個別の評価が生徒に伝わりにくい。総合的に評価したい分野で、評価がしにくい。
- ・シラバス等の見直しが必要と感じた。かなりの時間を要するが、生徒のためになっていないように感じる。
- ・再検討が必要だと思う。以前の様式の方が良かった。
- ・観点別評価について職員一人一人が理解を深める必要がある。
- ・授業の内容や時数について検討する。
- ・シラバスと評価の一体化の在り方は検討すべき課題と感じる。
- ・シラバスを簡略化させられれば
- ・社会生活の内容を検討した方が良い。職業と重複していたり、課題別となると担当者によってどのような学習をするのか、困る人もいると感じる。

4【教育課程、学習指導】（文化情報部）

- ・ICTに関わる教育環境の整備が推進されている。



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・教員用のタブレットの寿命が近くすぐ電源が落ちてしまうので買い換えが必要だと思います。
- ・機器の更新
- ・オンラインでの授業を行うための物品の充実(タブレット用の三脚など)、研修会の実施
- ・教員一人一つの端末があるとICTの活用は増えると思います。また、併せて大型テレビを増やしてほしい。
- ・生徒が各教科で学んだ知識(動画編集やファームの作り方)を実践できていた。
- ・職員のiPadの老朽化について計画的に修理や購入をしなければならない。

5 【 研修 】（研究部）

- ・目指す生徒像の実現に向け、教職員の対話と実践を中心に研究が推進されている。
- ・教職員の専門性を向上するために、校内研修や校外研修が推進されている。

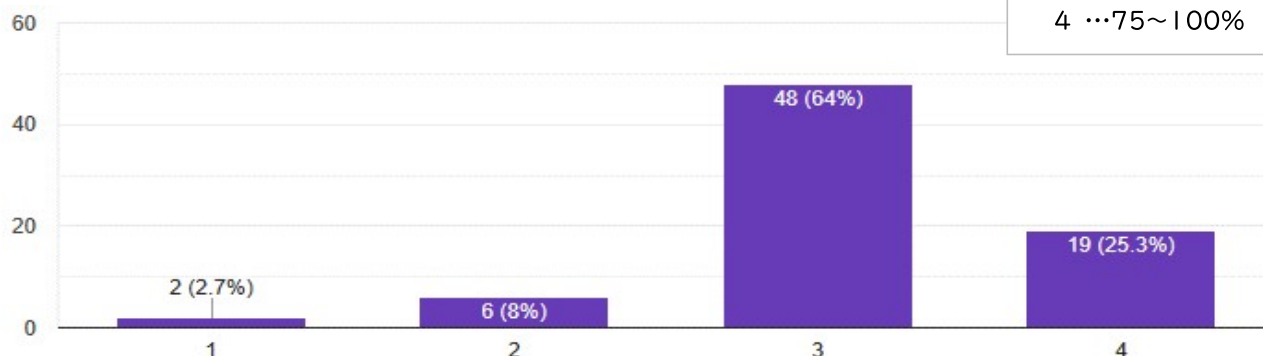
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・小中学校の先生方と交流
- ・職員室内でももう少し井戸端会議（良い意味で）のような話し合いができると良いと思いました。
- ・時間を作る。
- ・シラバスの内容や計画ではなく、研究を優先にして生徒の授業の多くの時間を使用することに疑問を感じる。
- ・何につながるのか、どこに向かっていくのか、方向性がわかりにくい。
- ・教職員以外の方とも対話などが出来るとよいかなと思います。
- ・対話がもっとあってもよいのでは。

6 【 情報教育、情報発信 】（文化情報部）

- ・文化的活動や学芸的行事、図書教育の充実が図られている。
- ・情報発信が積極的に行われ、地域のセンター的機能の充実が図られている。

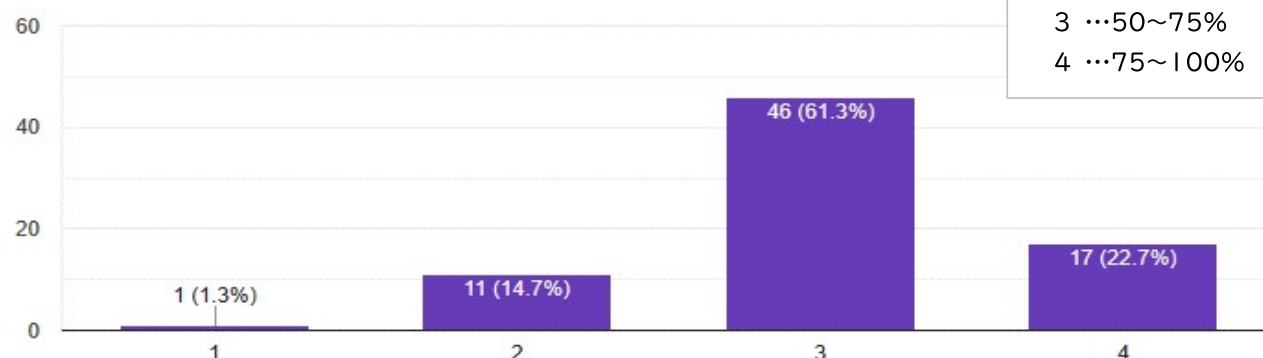
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・現状で可能な手立ては行われているが、それが伝えたい相手に届いているのかは分かりません。
- ・学校祭は、一般公開にしてよい。また、高等部段階の生徒における学校祭のあり方について検討が必要。
- ・学校祭の在り方や方向性について次年度に向けて早急に検討が必要では。
- ・図書教育の充実がなされていないと感じる。
- ・学校祭については、内容を検討する必要があるかと思われます。

7 【保健管理】（健康・体育部、保健室）

- ・健康・安全・美化についての指導が計画的に行われている。
- ・体育的行事の企画や、体育館などの環境整備が行われている。
- ・生徒の生育歴や健康状態を把握し、関係者で情報が共有されている。

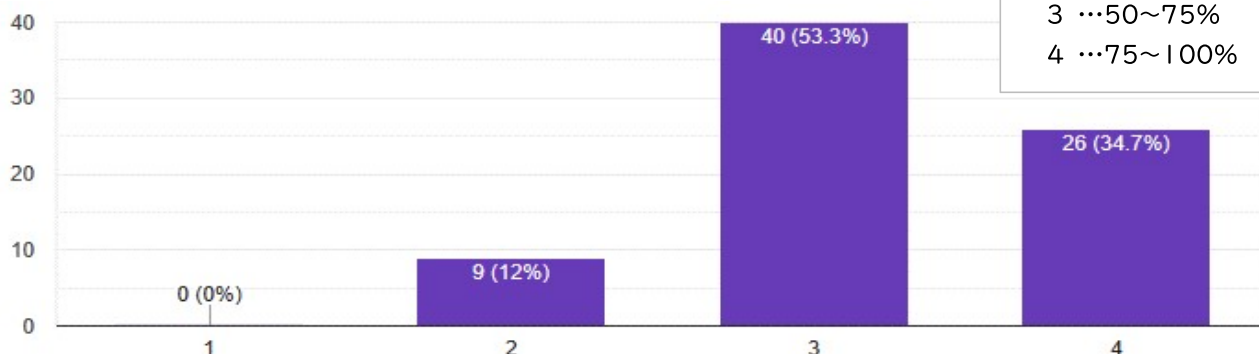
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・清掃時間の確保
- ・実習室や教室のモップを最低2本以上にしてほしいです。掃除の時間の確保。
- ・アレルギーやてんかん発作のある生徒については共有できていると感じた。
- ・清掃時間の設定
- ・情報共有の場の時間確保
- ・衛生面から教室カーテンのクリーニングが必要と思われる。
- ・短時間でも清掃をする習慣をつける。
- ・性教育をもっと段階的に学年ごとに系統性をもって丁寧に行なってほしい。性行為に限らず、命の大切さの学習から。

8 【生徒指導、安全管理】（生徒指導部）

- ・規範意識に基づいて行動できるように日常的生活指導が行われている。
- ・校内外の組織と連携し、全校体制で組織的・計画的な生徒指導が行われている。

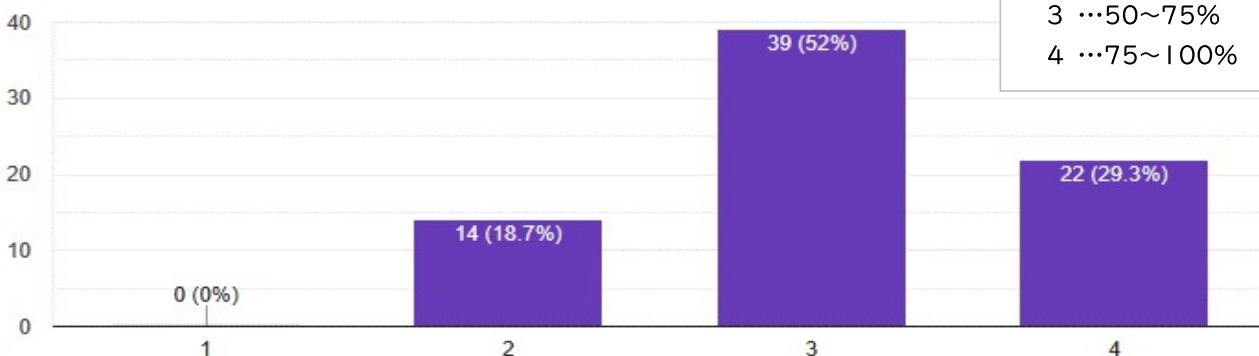
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・生徒指導に対する柔軟な対応はできているが、指導に関する体制を統一した方が良いと思う。指導に関しては指導部が主導で行うべき。
- ・生徒指導部長の負担軽減など、今後も持続可能な働き方の推進を図る(学年生徒指導部担当者と学年主任との連携など)。
- ・生徒協議会等を通して、自己指導能力が少しずつ育まれていると感じました。
- ・ルールの徹底がなされていないことがある。
- ・生徒指導上の問題行動について、学年中心ではなく、社会に出て役立つ指導を考える必要がある。
- ・規範意識をもてるような生徒指導の実践については、十分とは言えないと感じている。

9 【生徒指導、いじめ対応①】（学校いじめ対策組織）

- ・ 日頃から生徒との信頼関係の構築に努めている。
- ・ アンケート調査や個人面談などによっていじめを訴えやすい環境を整え、いじめの早期発見・積極的認知を行い、迅速に対応している。

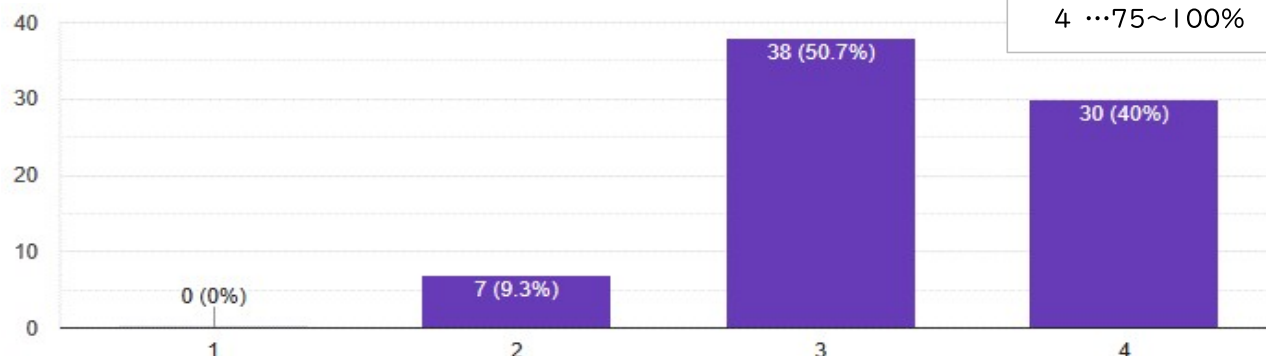
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・ いじめアンケートに関して、それを利用して相手を逆に攻撃したり、記憶を掘り起こして刺激を与えてしまったりすることがある。アンケートをとるにあたって、生徒にその辺りを説明するのはどうか。
- ・ 各フロアの見守りの先生方からの情報共有が有効であると感じました。
- ・ 面談の時間の確保が必要だと思います

10 【いじめ対応②】（学校いじめ対策組織）

- ・ 研修や職員会議などを通して、「学校いじめ防止基本方針」の理解を深め、いじめ対応が組織的に行われている。

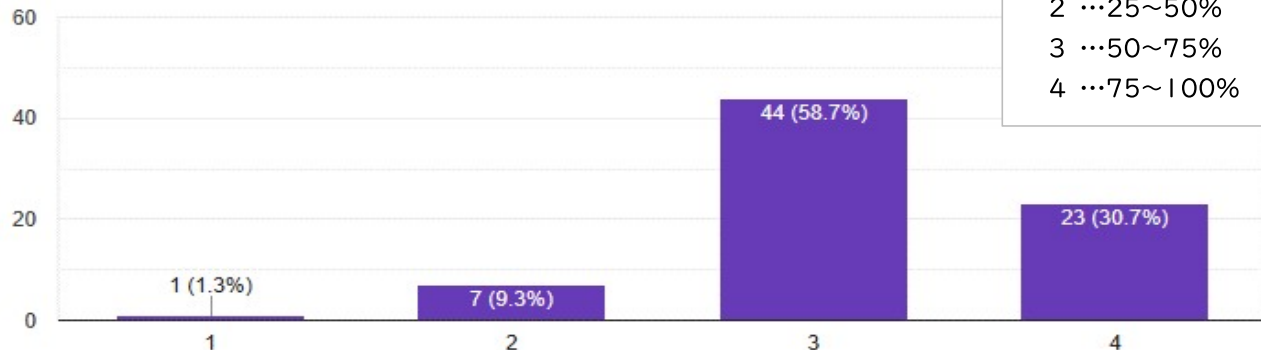
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%

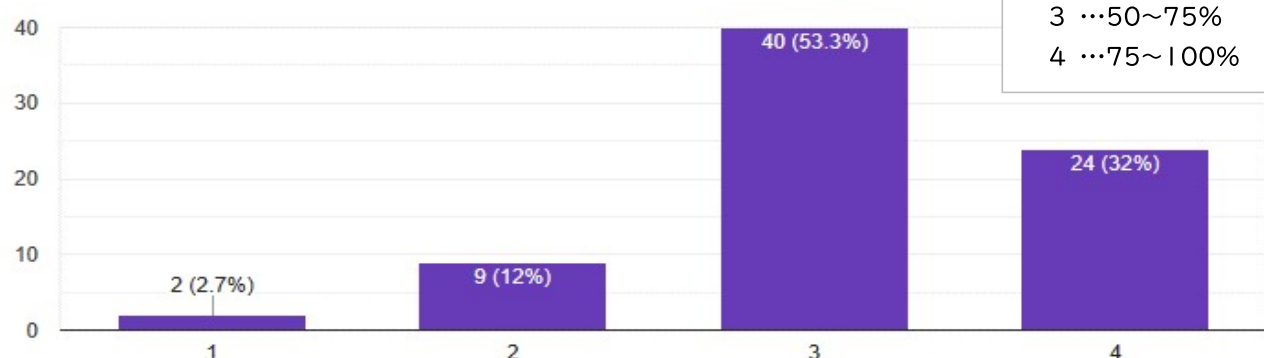


改善の方向性や具体的なアイデア

特になし

11 【いじめ対応③】（学校いじめ対策組織）

- ・全職員が「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめを未然に防止する発達支持的な生徒指導を行っている。

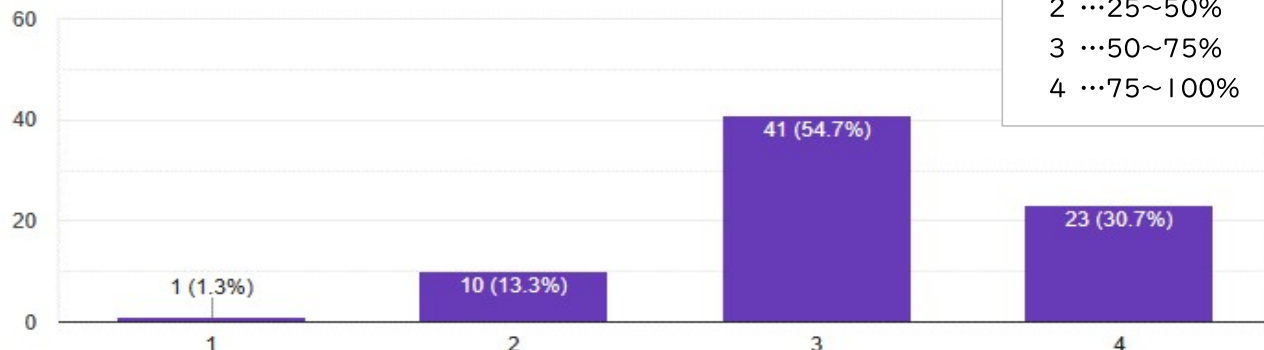


改善の方向性や具体的なアイデア

- ・担任による。私たちの自覚を高めるために、お互いの声掛けや、ときには管理職からのアドバイスが必要。
- ・道徳教育についての研修が必要だと感じました（個人的にも反省）。

12 【いじめ対応④】（学校いじめ対策組織）

- ・保護者や地域に対し、「学校いじめ防止基本方針」や「いじめに対する取組」、「いじめの発生状況」などについて、適切に説明している。



改善の方向性や具体的なアイデア

特になし

13 【生徒会、部・同好会】（生徒会推進部）

- ・生徒会、部・同好会、委員会の活動内容について、整備や調整が行われている。
- ・全校生徒の意見が反映される仕組みが整備され、学校生活の充実や向上が図られている。

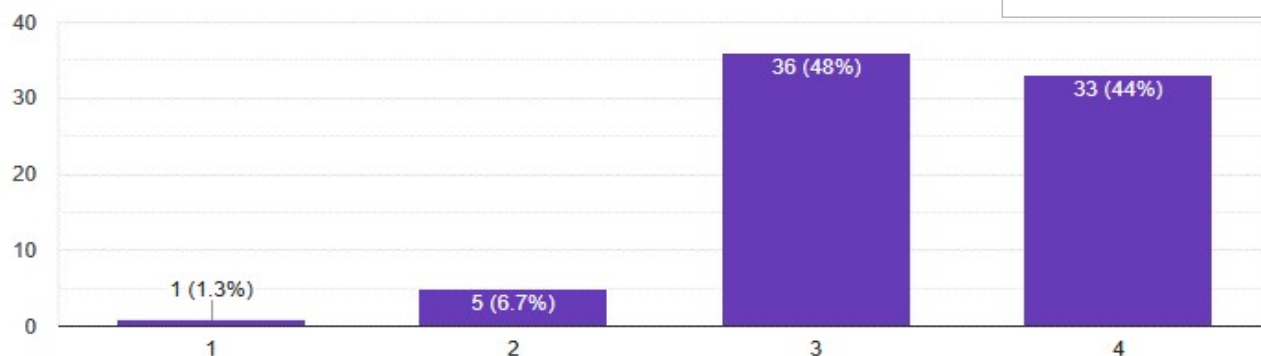
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・これらの活動による教育効果が本校では軽視されている感じがします。
- ・活性化
- ・部活動について、会議の無い月、水、金曜日、土日、休業中は各部の状況に応じて、柔軟に活動できるようにして欲しい。
- ・生徒会と委員会の連携が、生徒間でできる機会があると良いと、ホームルーム委員会を見ていると感じます。
- ・委員会の在り方について、もっと話し合えると良い。
- ・整備されていて、とてもすごい。一方で、担当職員の負担も大きいのではないかと案じている。

14 【相談支援】（相談支援部）

- ・中学生向けに情報提供が行われ、地域のセンター的機能の充実が図られている。
- ・校内組織、SCやSSW、関係機関と連携し、学級担任や家庭の支援が行われている。

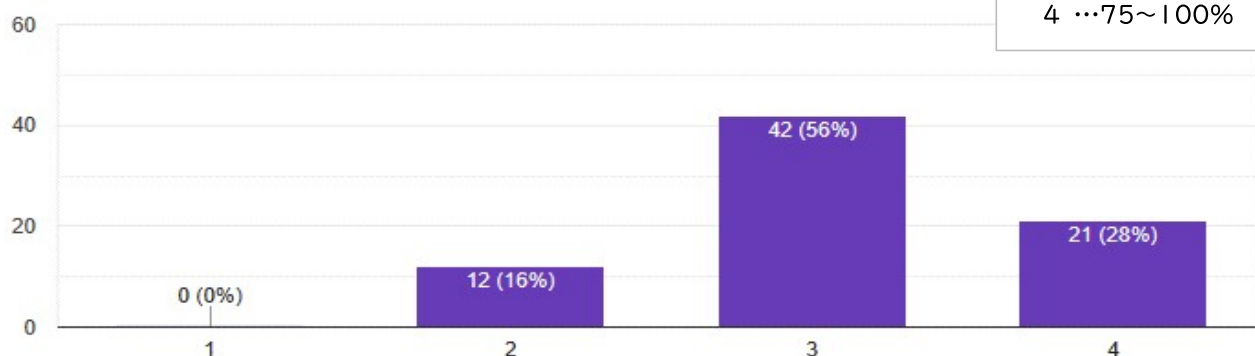
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・校内支援体制が整えられていないように思います。
- ・中学校へ進路選択で大切なことは何かを伝える場や取り組みがあると良い。本校の学校紹介ではなく。
- ・今回、法務少年支援センターとも繋がることができた。
- ・他校との交流の機会があるとよいと思う。

1.5 【進路指導】（進路指導部）

- ・進路学習について、3年間で発展的に学習できるように内容が整備されている。
- ・自己選択・自己決定に向けて、現場実習／インターンシップや進路面談の充実が図られている。

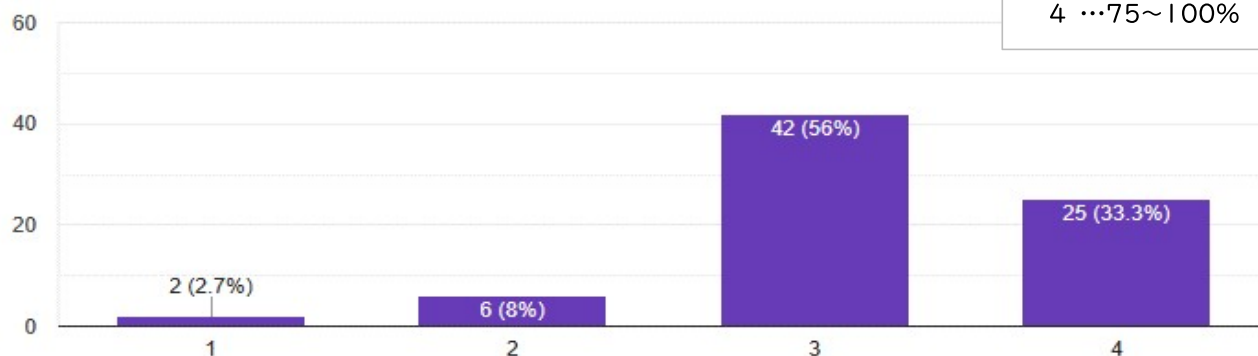
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・今後も充実した取り組みを進めるためには働き方改革が必要。担任作成資料の簡略化・効率化、進路懇談の精選などを進めてはどうか。
- ・進路面談、個人懇談など進路を優先する必要がある、授業に影響が出るケースもあった。指導の充実に見合った学校体制を考え、懇談週間の設定や時間割の調整を検討しても良いと思います。
- ・実習の学習帳はほとんど内容が変わらないため、発展的内容への見直しが必要。進路面談は、生徒の実態をあまり知らない他学年所属の進路担当が行うことに疑問。
- ・日々の学習と進路指導が関連できるとよい（職業など）。
- ・普通科と職業学科の現場実習（1・2年生の評価表）については統一した方がよい。
- ・進路面談に進路外勤の先生が入って進めていき、記録ももらっているが、進路外勤の先生ではなく、担任が全て進める方法ではいけないのかと思います。進路指導は進路外勤ではなく、担任主導で進めるべきだと思います。

1.6 【地域との連携】（総務部）

- ・コミュニティ・スクールを導入し、地学協働を進める体制が作られている。
- ・PTA活動や広報活動を通して、地域や保護者と連携が深められている。

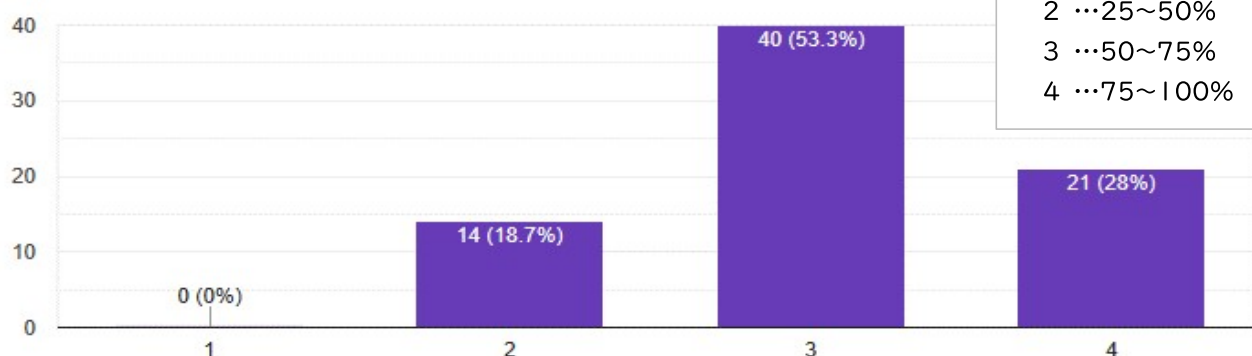
評価基準（達成度）

1 … 0～25%

2 … 25～50%

3 … 50～75%

4 … 75～100%

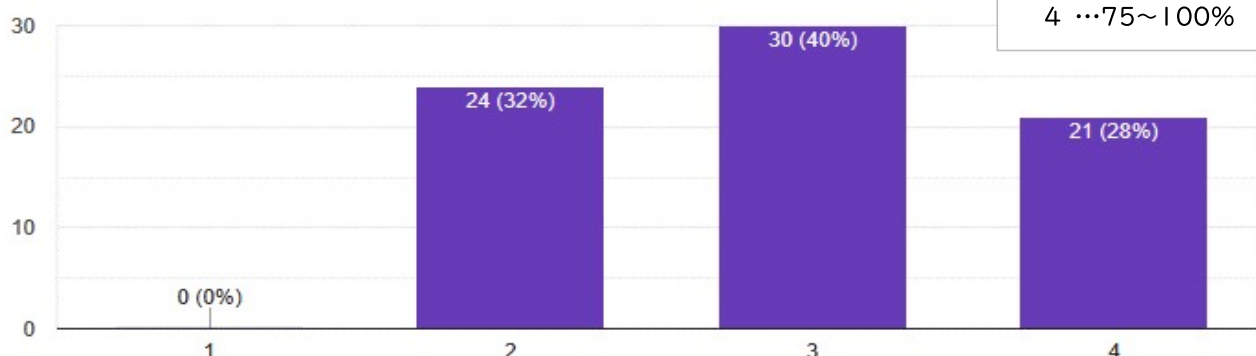


改善の方向性や具体的なアイデア

- ・平日の研修や花壇の整備は、働いているご家庭が多いので難しい。休みをとって来てくださっているご家庭もあると思うので急な変更はやめた方がよい。
- ・あいの里はお年寄りも多いので、ホームページだけでなく、まだまだ紙媒体も必要。駅や商業施設への掲示など。
- ・どんなことをどのように進めているのかわからないので、知りたいです
- ・大きなイベントではなくても、日常的に地域と関わると良い。
- ・さらに地域との連携を強化する。地域イベントへの参加など（沢山あると思います）。

17 【地域連携】（教務部）

- ・あいcircleに向けて調整が行われ、内容の充実が図られている。



改善の方向性や具体的なアイデア

- ・メインで担当していない職員には内容への透明感が弱い気がします。
- ・全員がスマートフォンを持っているわけではないので、細かい案内がQRコードのみでは厳しいと思う。紙媒体も必要。
- ・あいサークルの意義は非常に高いが、他の活動との兼ね合いを考えると年に1回で良い。
- ・今後もあいサークルを続けていくと良い。
- ・地域主体でなく、その活動で生徒がどうなるべきかを考える必要性がある。
- ・各学年(生徒全員)が企画に関われるように推進する。
- ・実施時期の検討、内容の見直し
- ・地域との連携は整備されていて、関わっている担当者には感謝ですが、校内体制の整備は課題がたくさんあるので、検討できると良いと思います。
- ・全学年での実施が良いと思います。
- ・今年度の実施状況や反省を検証して、各部署で検討する時間を作る。
- ・今年度の振り返りから、細かな修正を加え、より良いものにしていくとよい。
- ・全体で検討する。
- ・他の行事との兼ね合いを考慮し、あいcircleの回数、時期を検討してほしい。
- ・実施するタイミングをしっかりと検討するべき。今年の11月のあいcircleは明らかにきつかった。
- ・あいcircle自体はとても良い取り組みだと思うが、担当教員と学年職員の負担は相当大きいように思える。
- ・実施時期(学校祭と一緒にする)、内容などについて検討が必要
- ・あいcircleも再スタートしたため、行事の再編・見直しが必要では。
- ・あいcircleは学校祭と一本化してもよいのではないのでしょうか。あいcircleをベースに学科の良さを取り入れ、学校祭とのミックスを検討してはどうでしょうか。